



2024年3月期 第2四半期決算



極東開発工業株式会社
東証プライム:7226

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 会社概要 | P2～9 |
| 2. 2024年3月期 第2四半期実績 | P10～12 |
| 3. セグメント別実績 | P13～25 |
| 4. 2024年3月期通期 業績予想 | P26～39 |
| 5. TOPICS | P40～42 |

1. 会社概要

極東開発工業株式会社

9月末時点

連結子会社 11社

◎ 持分法適用会社 6社

○ 持分法非適用会社 1社

上記とは別途2023年度追加

※1 5月取得

※2 7月取得

特装車事業

日本トレクス

エフ・イ・オート

振興自動車

北陸重機工業

井上自動車 ◎

九州特殊モータース ※1

環境事業

極東サービスエンジニアリング

極東サービスエンジニアリング北海道

モリプラント ◎

エコファシリティ船橋 ◎

エコファシリティ西宮 ○

パーキング等事業

極東開発パーキング

ささしまライブパーキング ◎

エフ・イ・イ

海外拠点

極東開発（昆山）機械

極東特装車貿易（上海） ◎

SATRAC

PT KYOKUTO INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

PT KYOKUTO INDOMOBIL
DISTRIBUTOR INDONESIA ◎

Kyokuto Australia Pty Ltd ※2

特装車事業について

※トラックへの架装の場合



トラックメーカー・ディーラー

商社・ユーザー様

①発注

②シャシ搬入
(預かり)

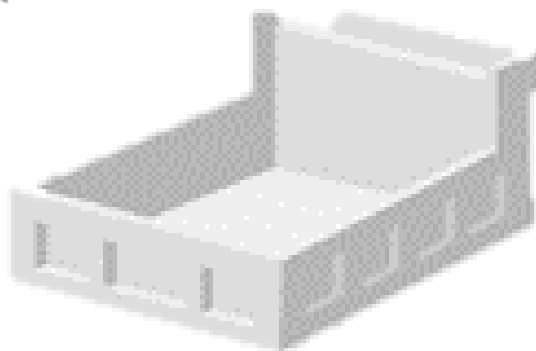
④納入
【売上】

①発注

④納入
【売上】



トラックの車台(シャシ)



ボデー

③架装



完 成

※コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。



コンクリートポンプ車



ダンプトラック

赤字:シェア1位製品
青字:シェア2位製品



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ウイングボデー車



粉粒体運搬



ごみ収集車



脱着ボデー車



トレーラ

国内生産体制

KYOKUTO



三木工場

(兵庫県三木市)

- コンクリートポンプ車
- ごみ収集車
- タンクローリ
- 機能部品の内製

KYOKUTO



福岡工場

(福岡県飯塚市)

- ダンプトラック
- バン

KYOKUTO



名古屋工場

(愛知県小牧市)

- ダンプトラック
- 粉粒体運搬車
- テールゲートリフタ
- 散水車、タンクローリ

KYOKUTO



日本トレクス本社事業所

(愛知県豊川市)

- トレーラ
- バン

TREX



日本トレクス音羽事業所

(愛知県豊川市)

- ウイングボデー

TREX



日本トレクス御津事業所

(愛知県豊川市)

- スワップボデー

TREX

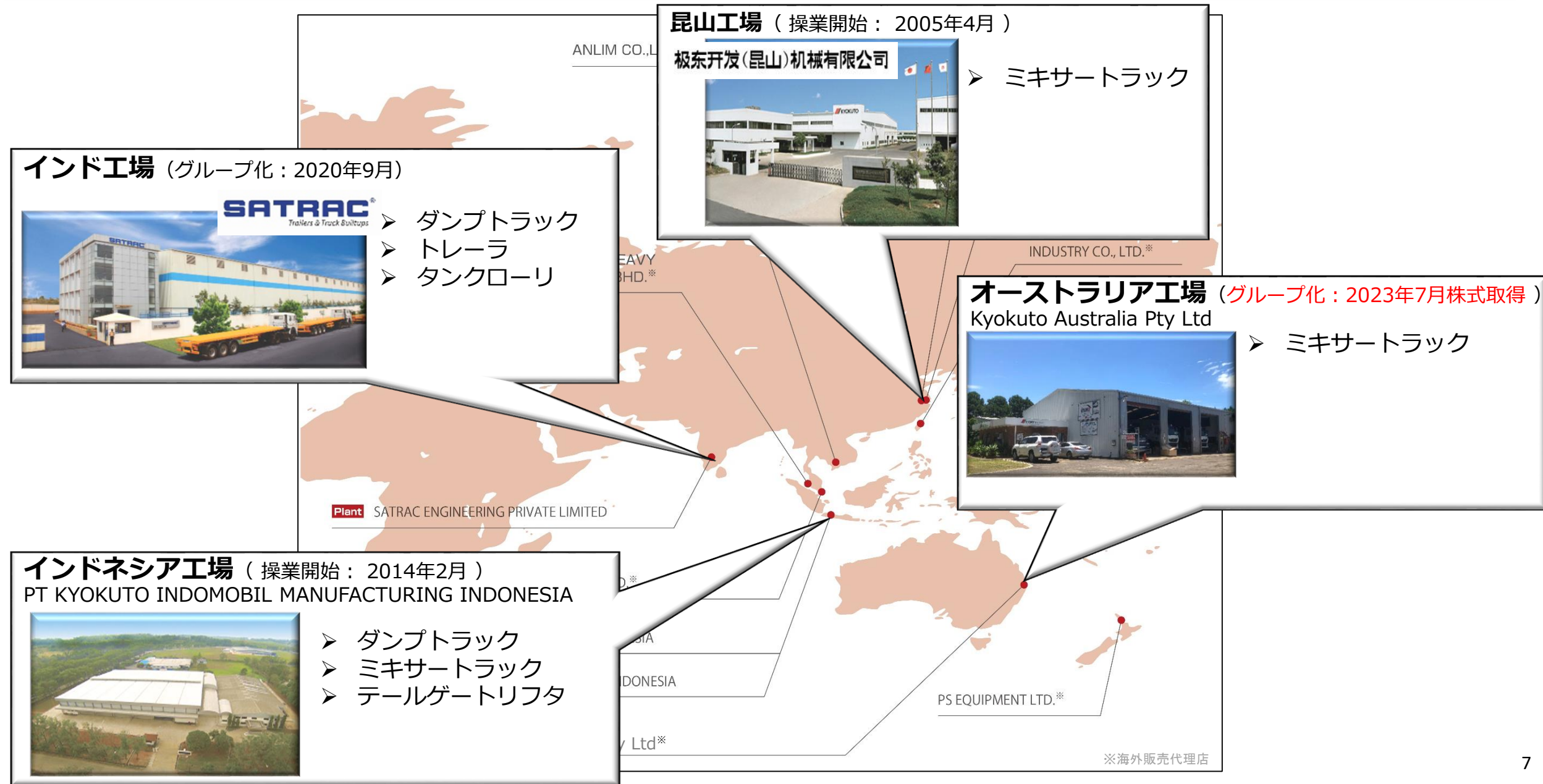


横浜工場

(神奈川県大和市)

- ダンプトラック
- 脱着ボデー車
- 1台積車輛運搬車

KYOKUTO



環境事業について



自治体

広域組合

廃棄物処理関連企業

発注

発注

プラント建設
設備据付

運転受託
メンテナンス



全国 203 箇所の納入実績
※2023年9月末

全国 37 箇所で運転を受託中
※2023年9月末

The logo for KYOKUTO, featuring a stylized red and grey parallelogram icon to the left of the word "KYOKUTO" in a bold, black, sans-serif font.

デベロッパ

マンション管理組合

発注

立体駐車装置の製造

全国 90,302パレット
※2023年9月末

発注

メンテナンス
リニューアル

土地才一ナ一

利用者

貸賃

土地賃貸料

P.ZONE®

全国 710事業地
11,990車室
※2023年9月31日現在

コインパーキング用地は自社保有ではありません

利用料【売上】

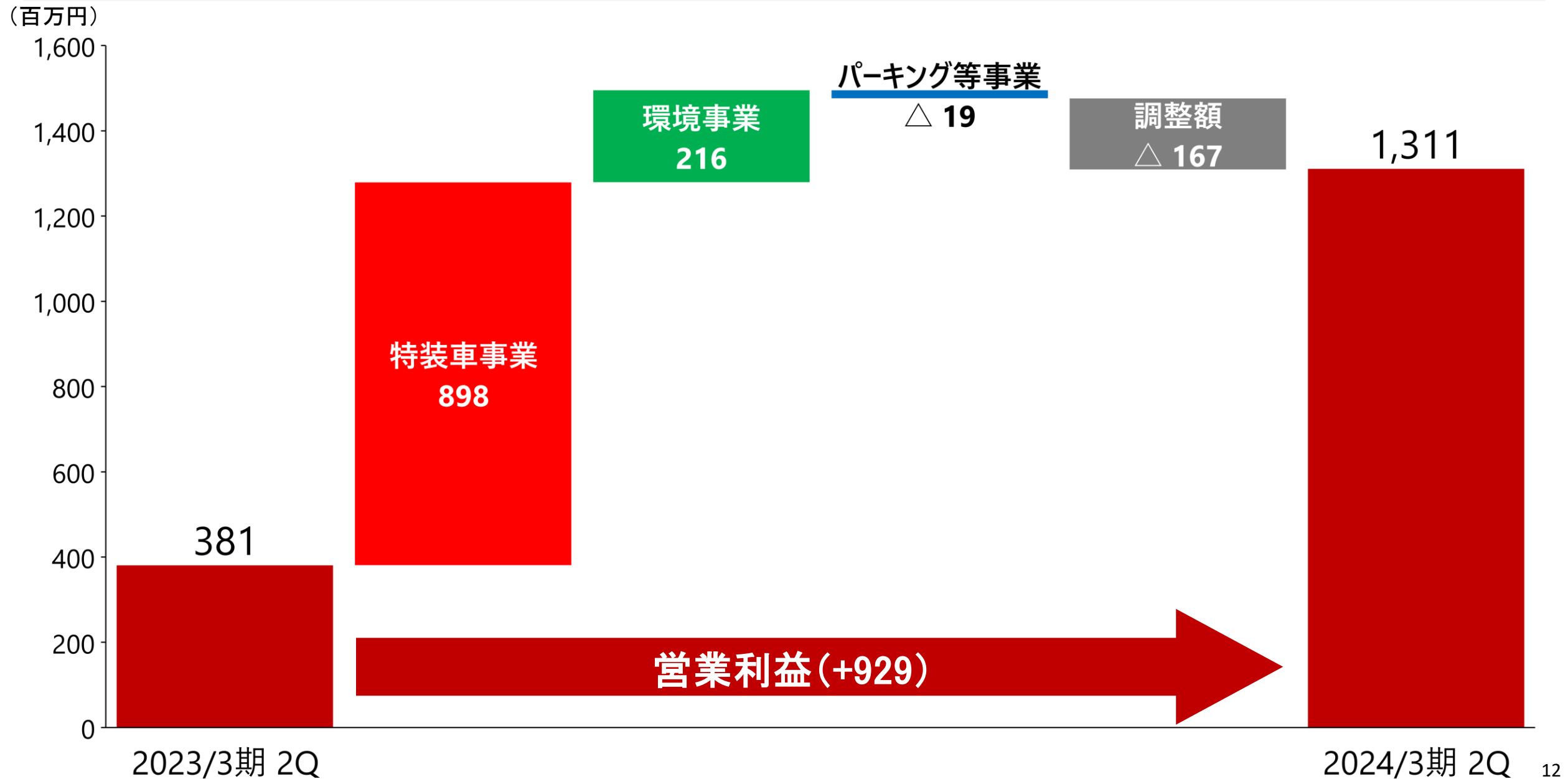
2. 2024年3月期 第2四半期実績

決算期 百万円	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	増減	(増減率)
売上高	51,709	59,570	+ 7,860	+15.2%
営業利益	381	1,311	+ 929	+244.0%
経常利益	888	1,858	+ 970	+109.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	728	1,063	+ 335	+46.0%
特装車事業 受注高	49,141	42,999	△ 6,142	△12.5%
特装車事業 受注残高	72,649	81,470	+ 8,821	+12.1%

2024年3月期
第2四半期
連結決算のポイント

- ✓ 特装車事業の損益が徐々に回復基調
- ✓ 環境事業が増収増益
- ✓ パーキング等事業も堅調

連結営業利益増減要因（セグメント別） KYOKUTO



3. セグメント別実績

特装車事業



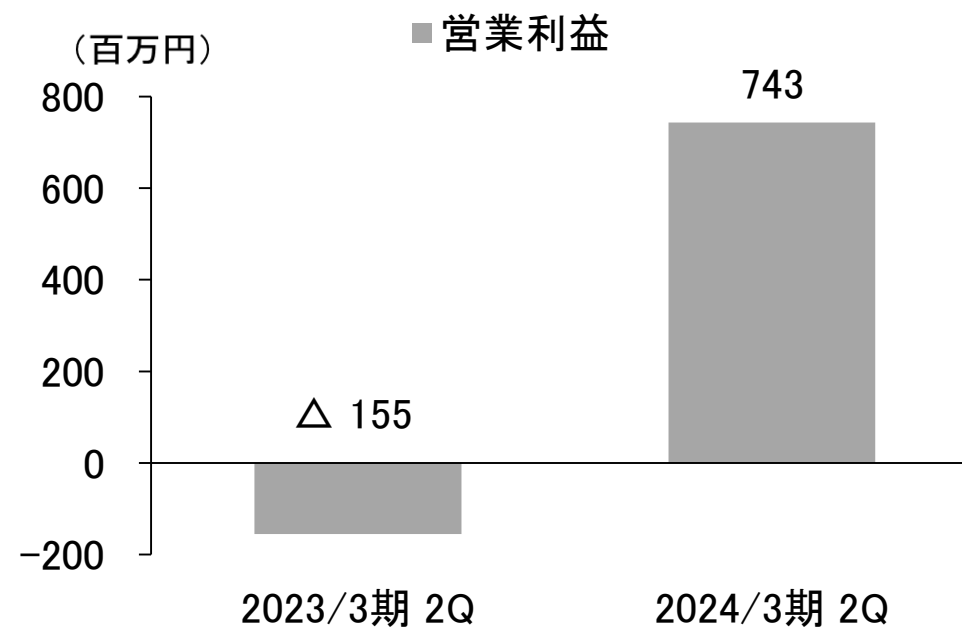
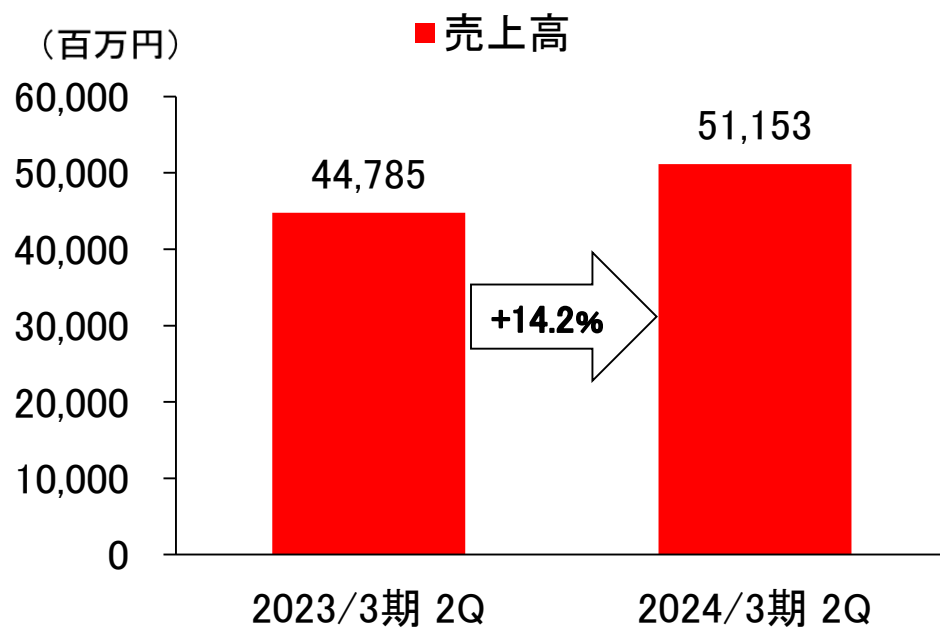
2024/3期 2Q時点

売上高 (+14.2%)

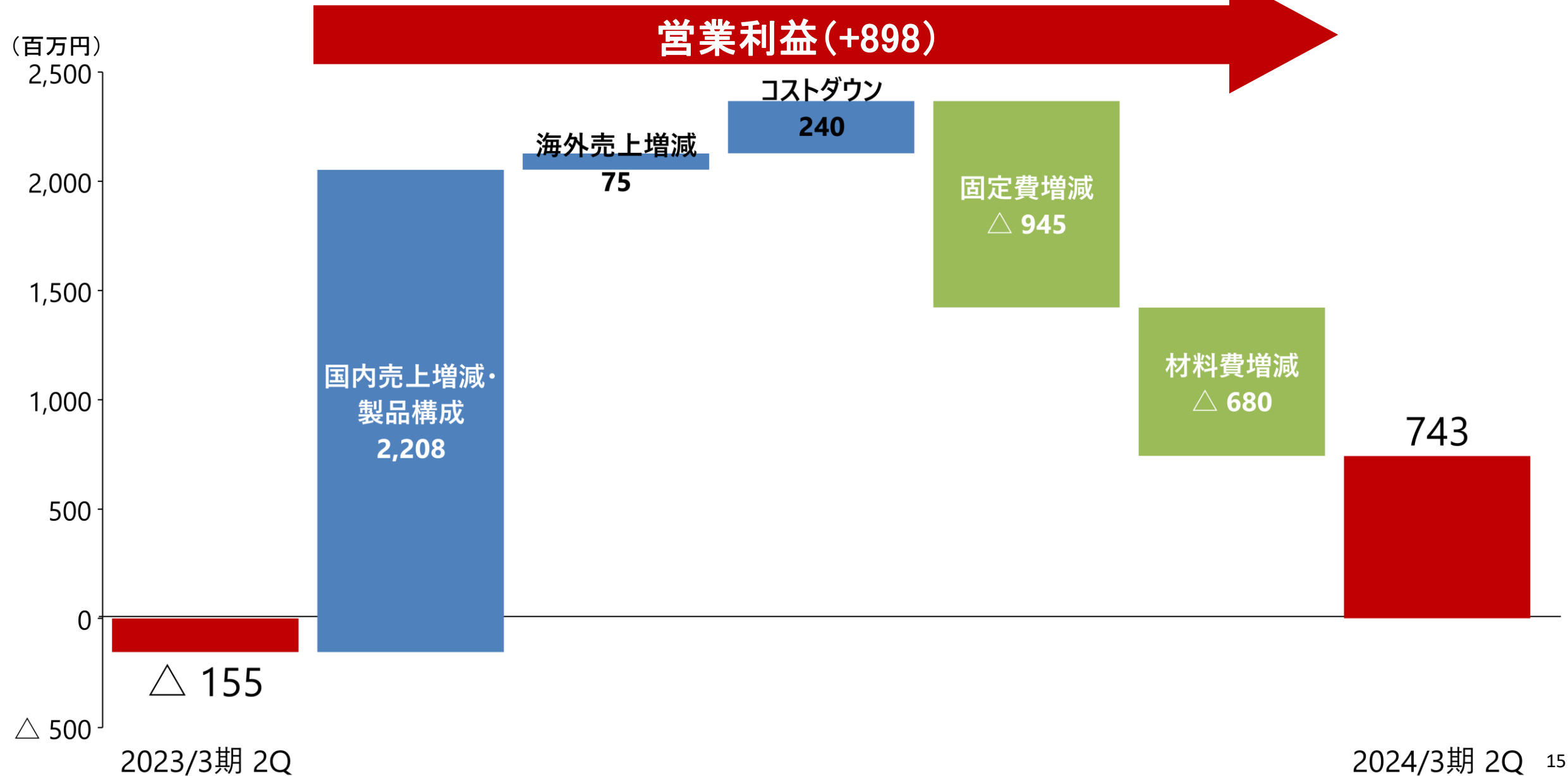
- ↑ 半導体不足等に伴う国内トラックシャシの供給制限がやや改善
- ↑ 海外事業(インド、インドネシア)が好調 → 海外売上 **29%増加**

営業利益 (-)

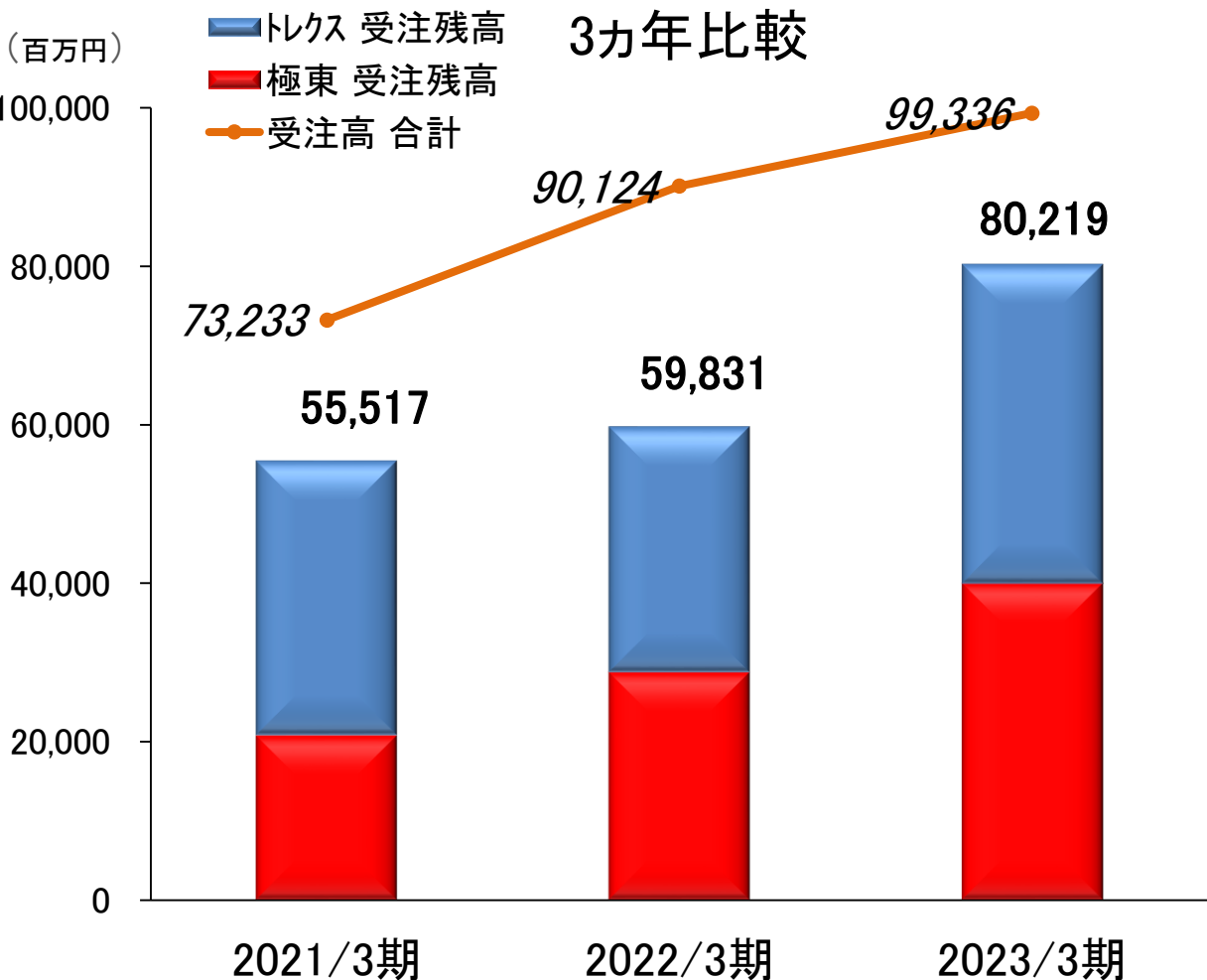
- ↑ 製品価格の改定を実施し、利益改善
- ↑ 海外売上の増加
- ↓ 原材料・エネルギー価格の高止まり



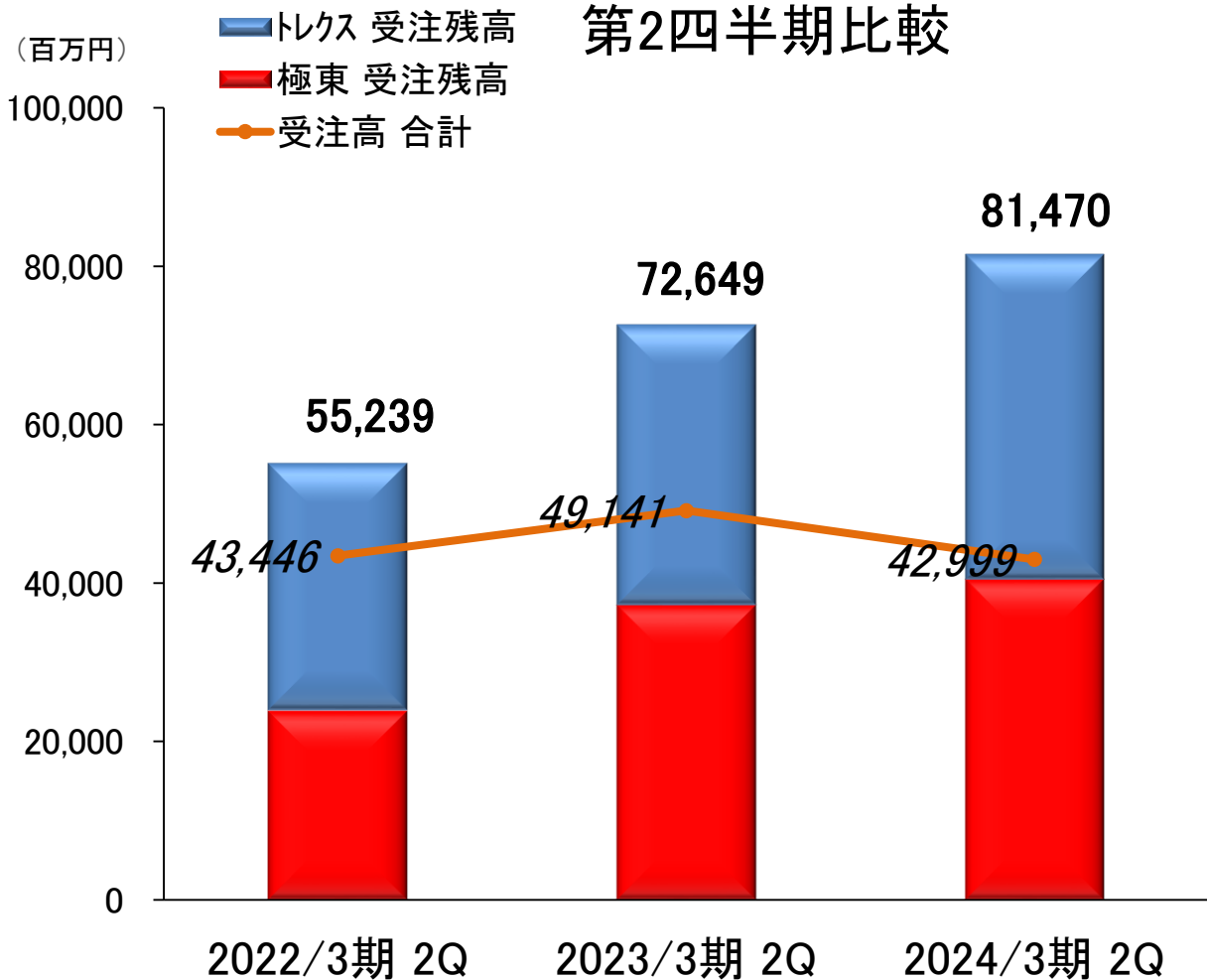
連結営業利益増減要因（特装車事業）



特装車事業 受注高と受注残高



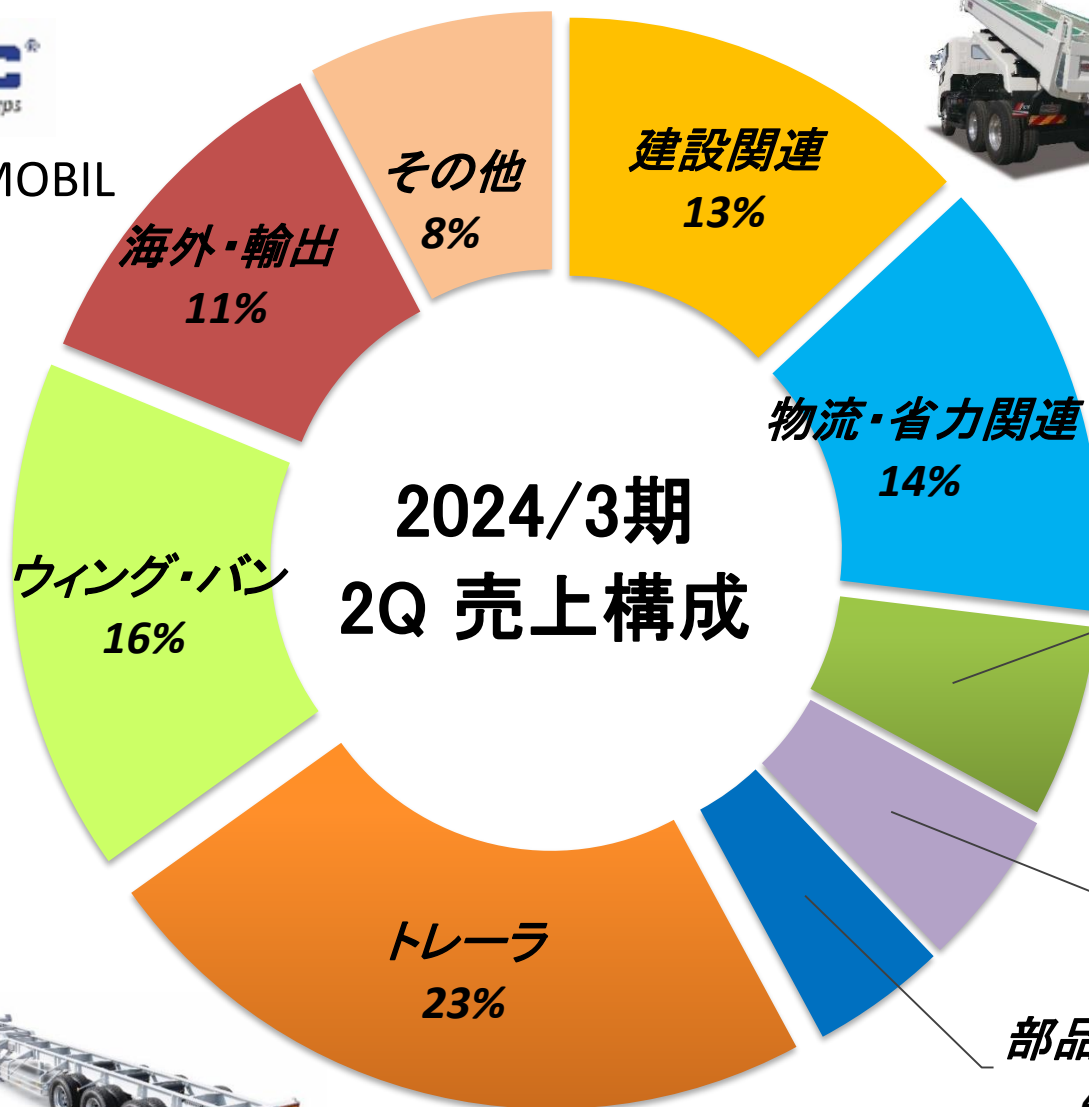
	2021/3期	2022/3期	2023/3期
極東 受注残高	20,809	28,779	39,993
トクス 受注残高	34,708	31,052	40,226
受注残高 合計	55,517	59,831	80,219
極東 受注高	44,754	49,761	47,056
トクス 受注高	28,479	40,363	52,280
受注高 合計	73,233	90,124	99,336



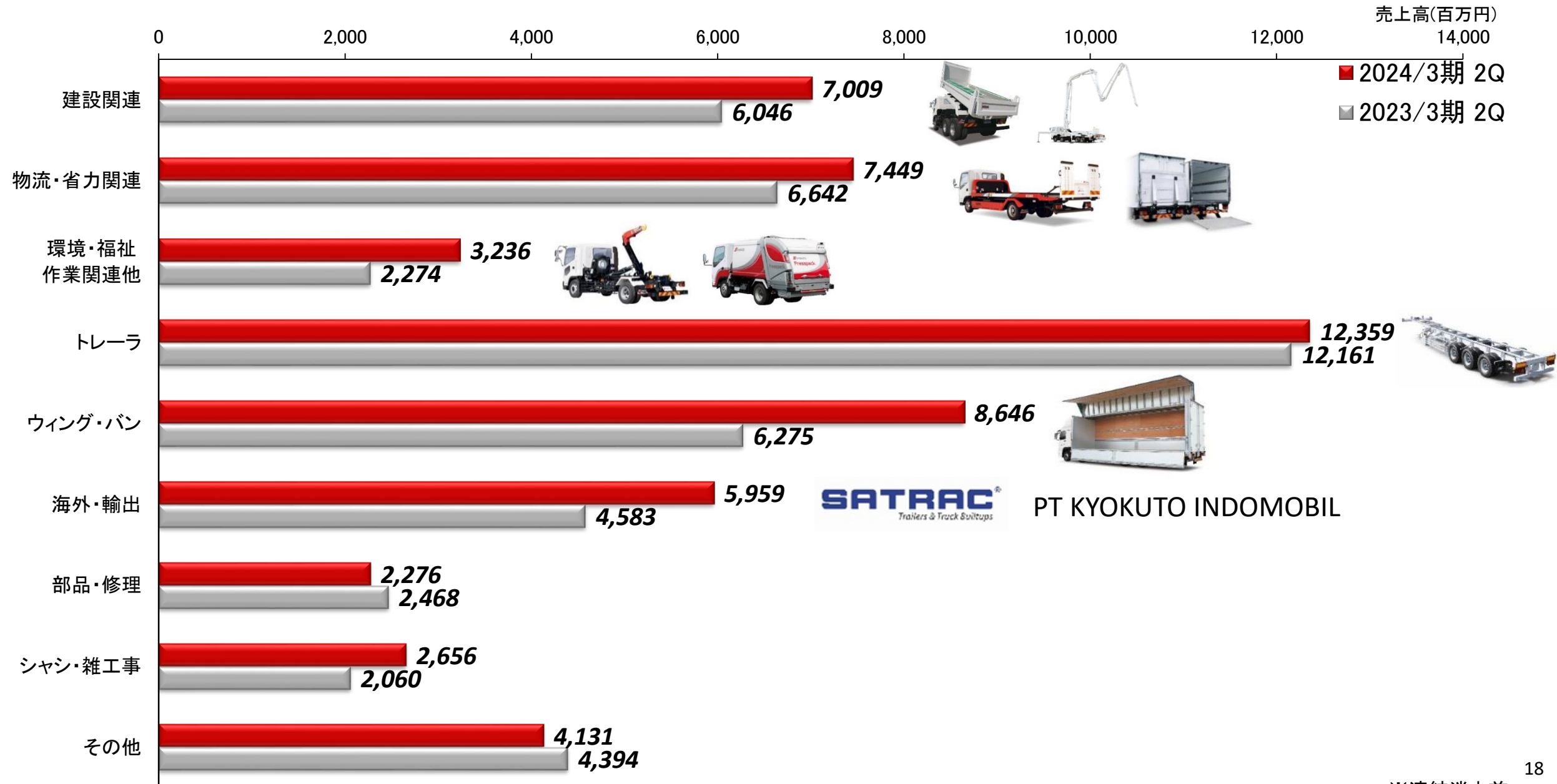
	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q
極東 受注残高	23,934	37,308	40,560
トクス 受注残高	31,305	35,341	40,910
受注残高 合計	55,239	72,649	81,470
極東 受注高	24,540	25,244	20,409
トクス 受注高	18,906	23,897	22,590
受注高 合計	43,446	49,141	42,999

SATRAC®
Trailers & Truck Builtups

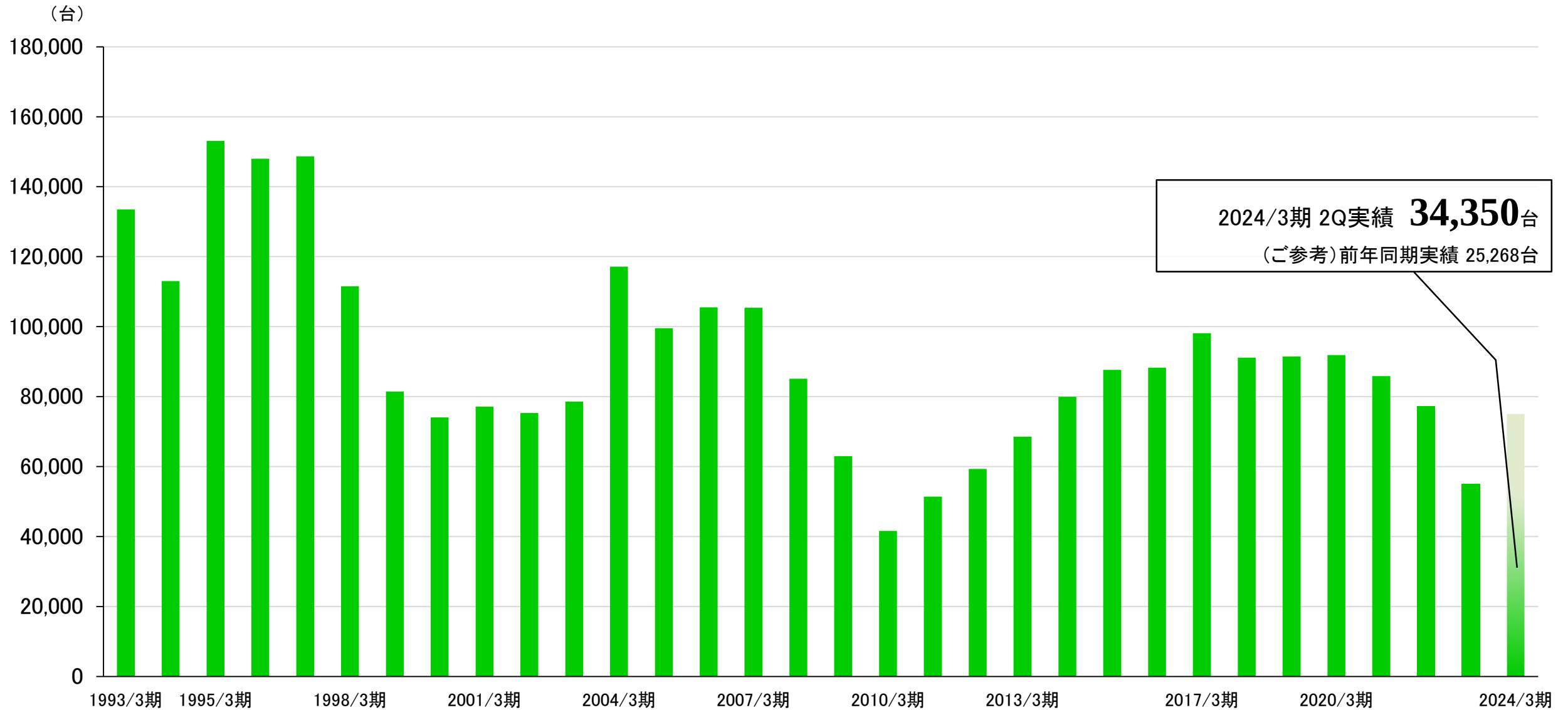
PT KYOKUTO INDOMOBIL



特装車事業 製品別売上高



国内市場 普通トラック登録台数推移



環境事業



2024/3期 2Q時点

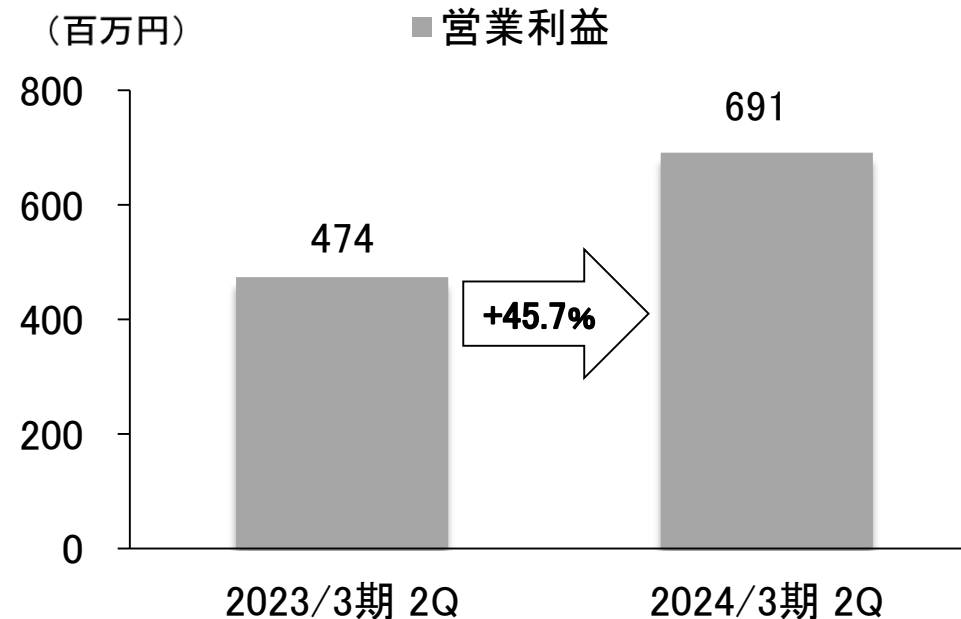
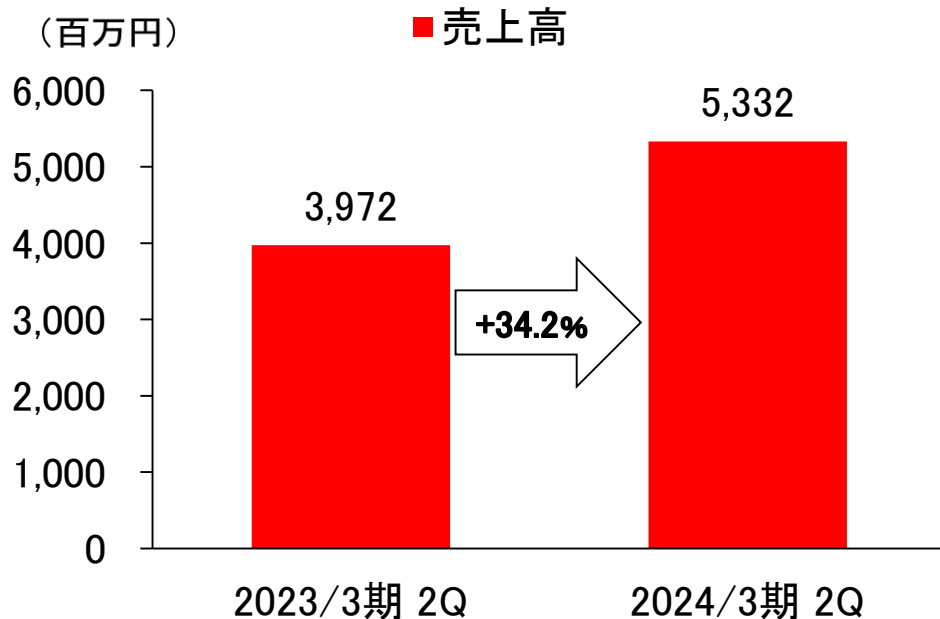
売上高 (+34.2%)

↑ プラント増加(建設工事が順調)

↑ メンテナンス・運転受託は引き続き堅調

営業利益 (+45.7%)

↑ 売上増により大幅増益



環境事業 売上高比較

売上高(百万円)

0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000

2023/3期 2Q

プラント
483

メンテナンス・運転受託
3,489

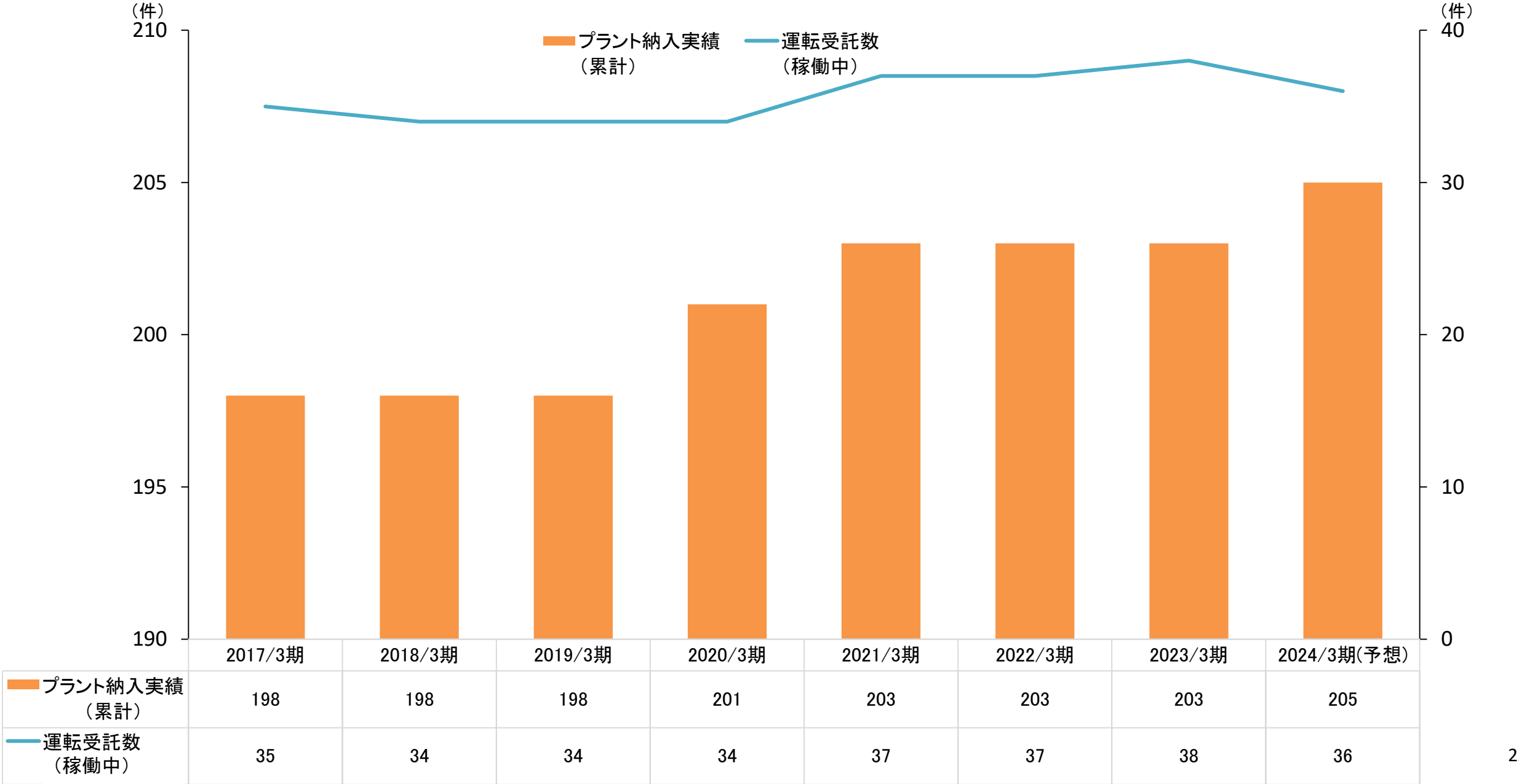
合計
3,972

2024/3期 2Q

プラント
1,505

メンテナンス・運転受託
3,827

合計
5,332



パーキング等事業



2024/3期 2Q時点

売上高 (+4.0%)

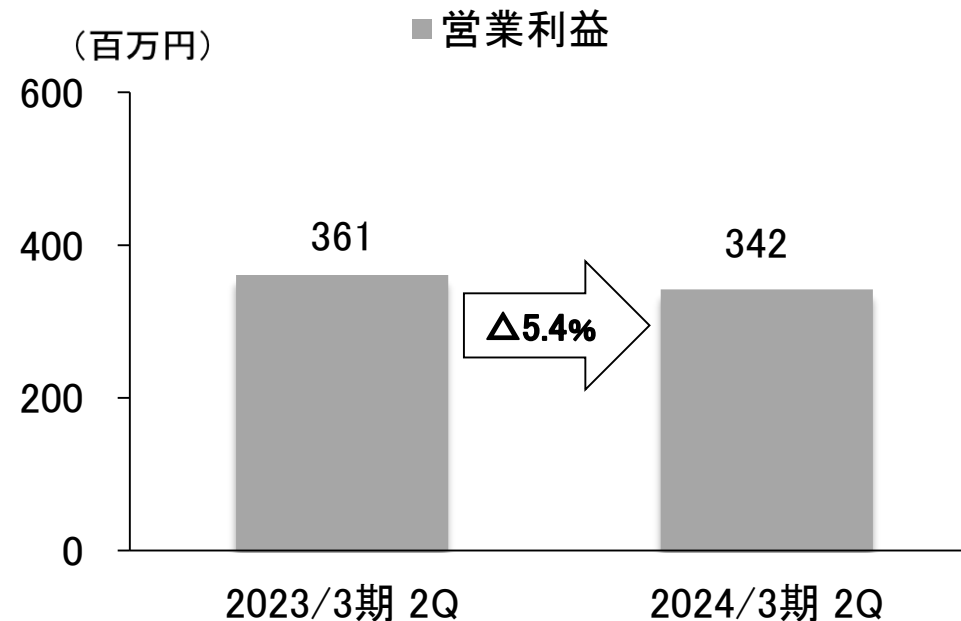
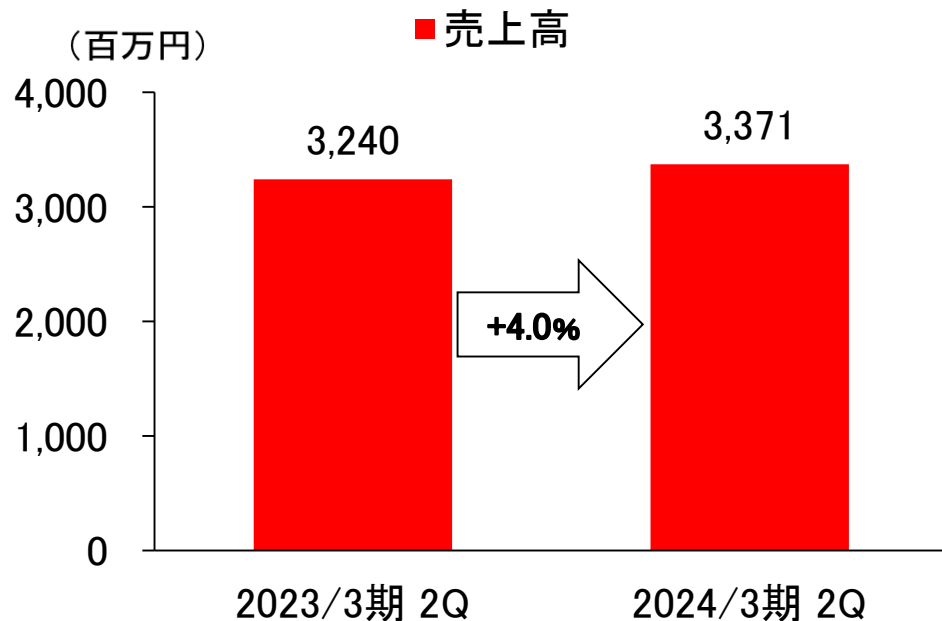
↗ 立体駐車装置は堅調

↗ コインパーキングはコロナの影響からの回復等により大幅増

営業利益 (△5.4%)

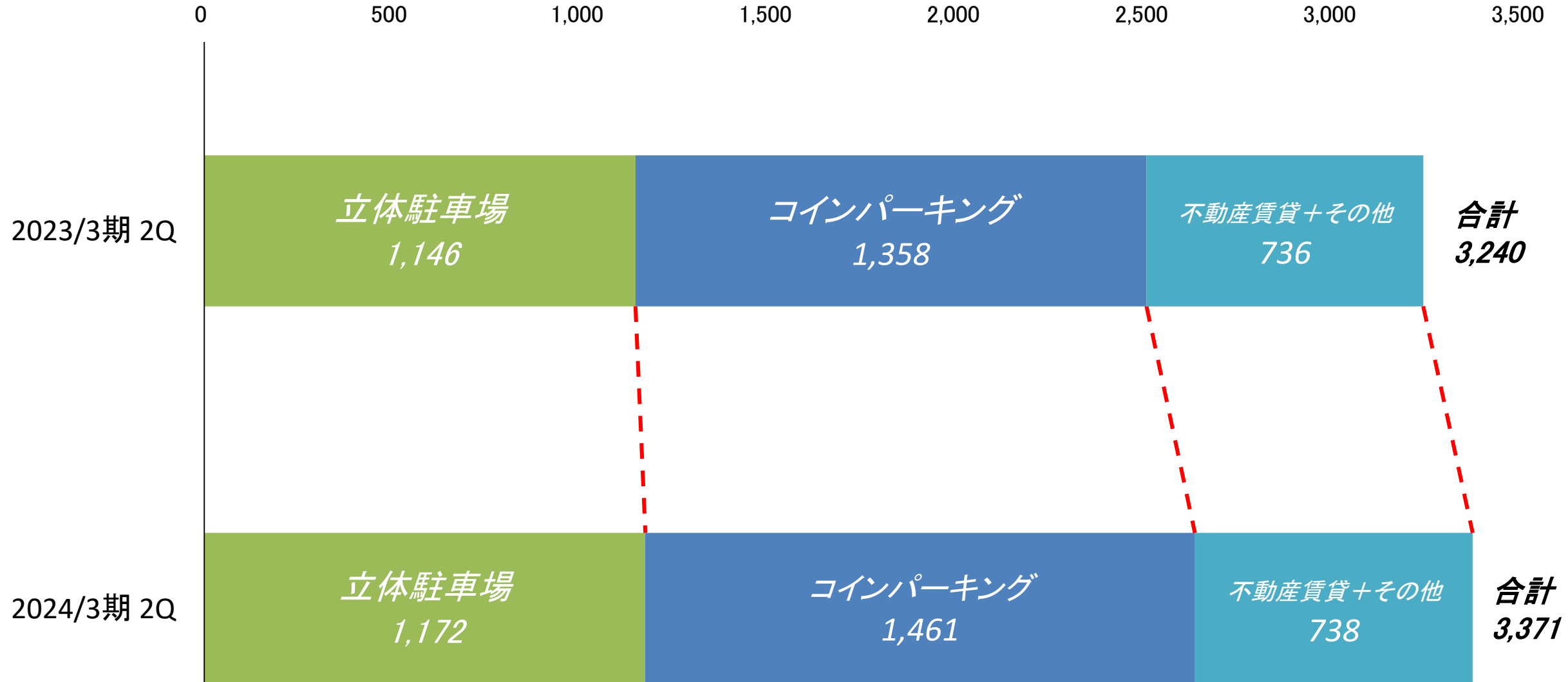
↘ 立体駐車装置は原材料高騰等により減少

↗ コインパーキングは大幅増

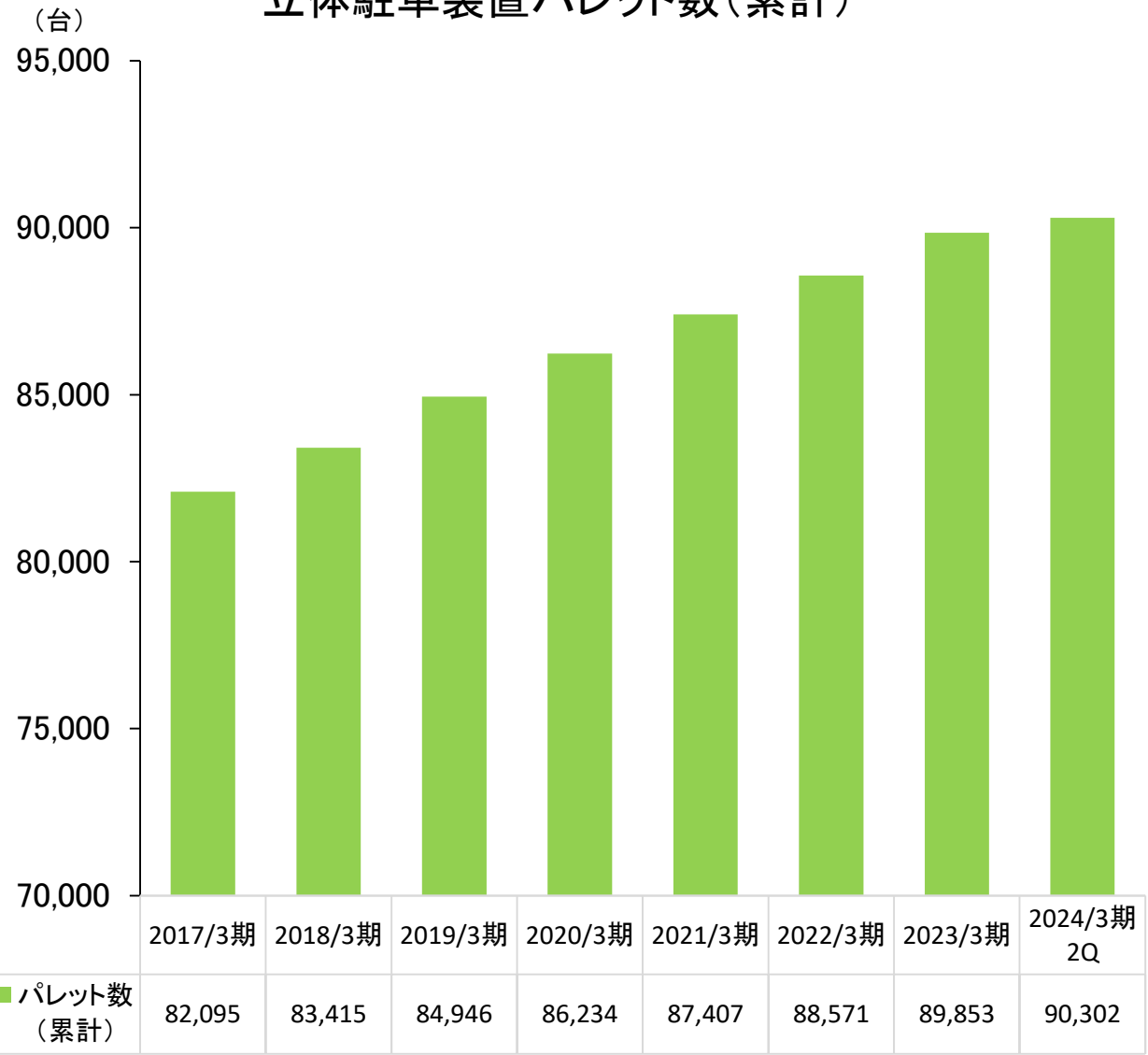


パーキング等事業 売上高比較

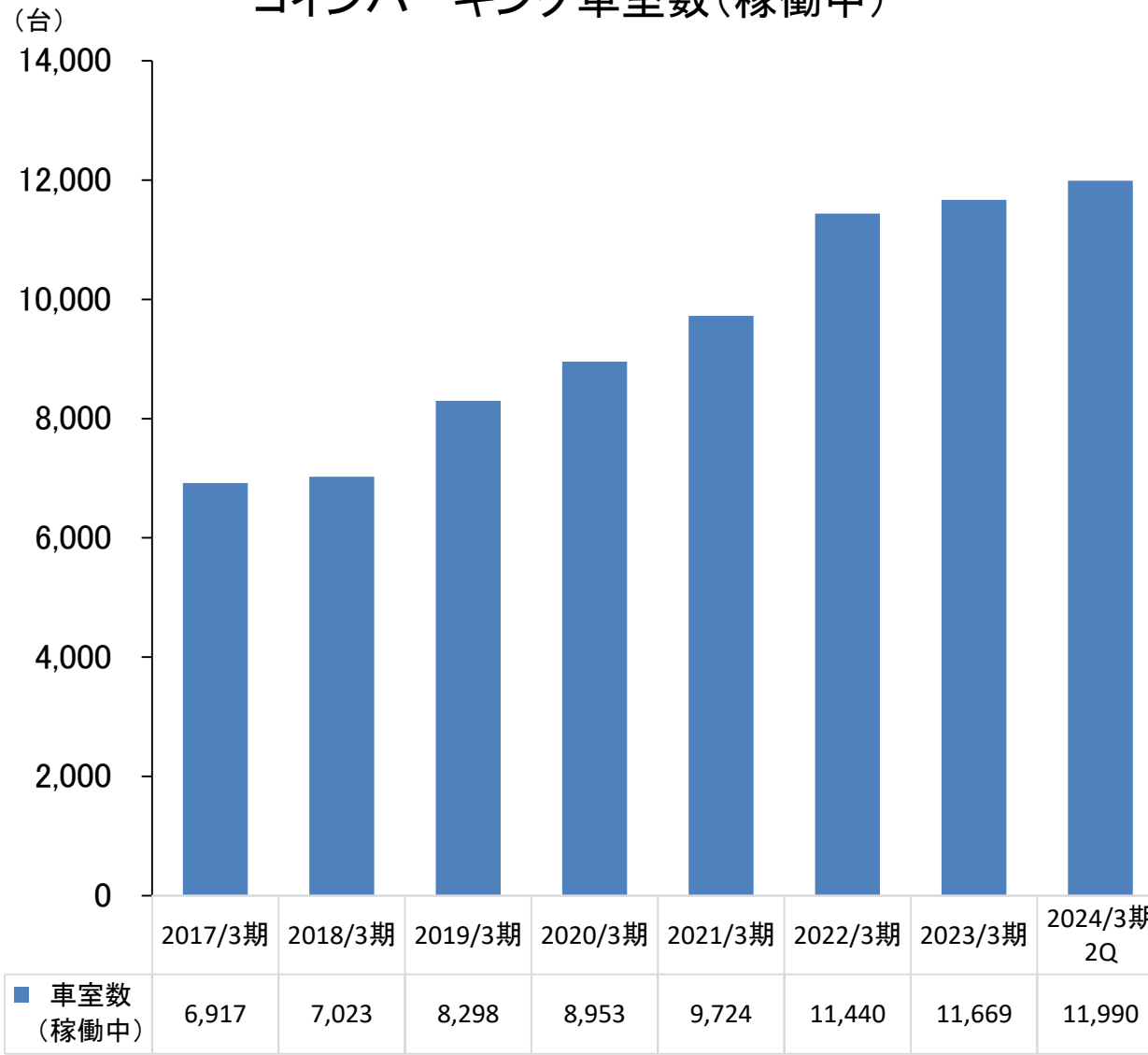
売上高(百万円)



立体駐車装置パレット数(累計)



コインパーキング車室数(稼働中)



4. 2024年3月期通期 業績予想

決算期 百万円	2023/3期	2024/3期	増減	(増減率)
売上高	113,089	125,000	+ 11,911	+10.5%
営業利益	991	3,200	+ 2,209	+222.8%
経常利益	1,187	3,500	+ 2,313	+194.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,580	2,200	△ 1,380	△38.6%

2024年3月期
連結業績予想

2023年5月公表の予想から修正なし
売上高 1,250億円 営業利益 32億円 経常利益 35億円
親会社株主に帰属する当期純利益 22億円

2024年3月期
配当予想

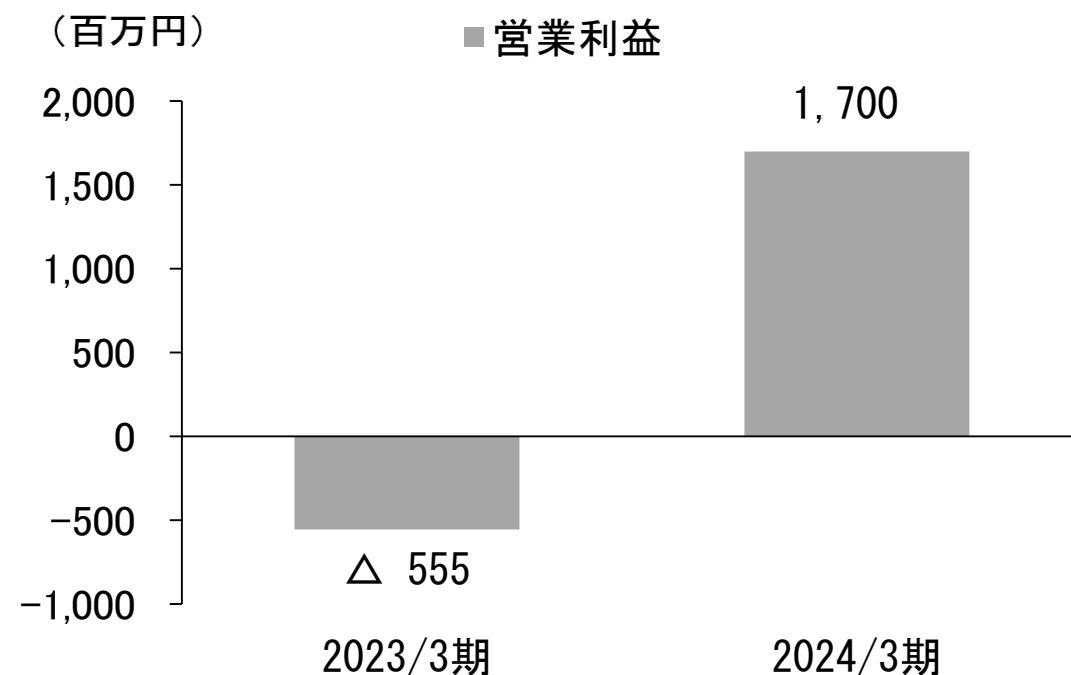
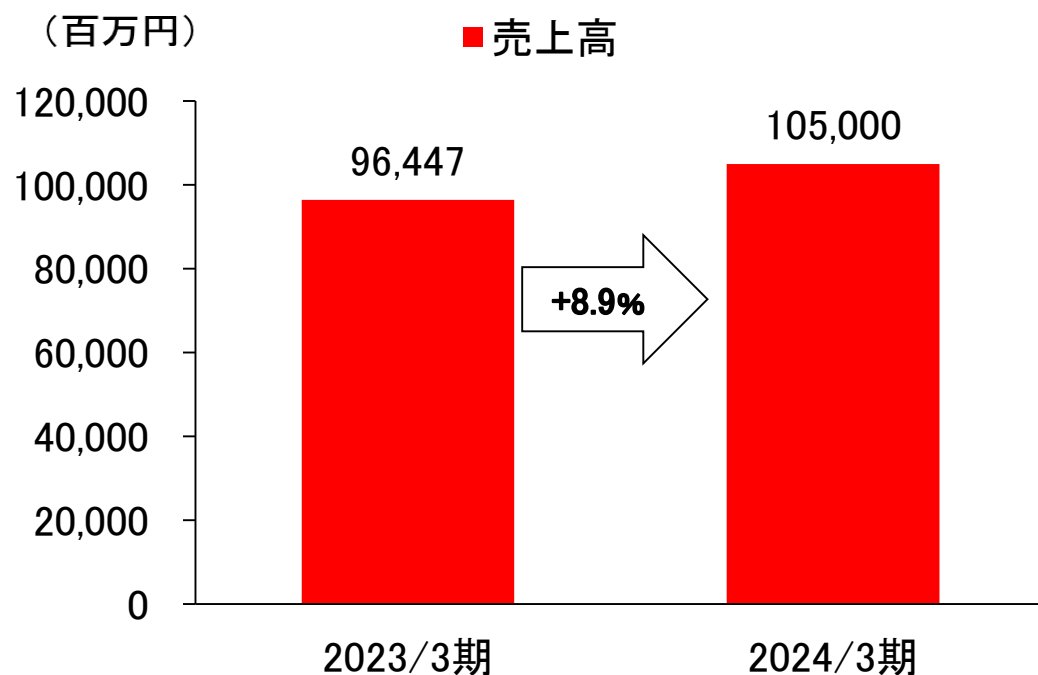
2023年5月公表の予想から修正なし
1株当たり配当金
中間配当 29円 期末配当 29円 計 58円

2024年3月期 セグメント別予想

百万円		決算期	2023/3期	2024/3期	増減	(増減率)
特装車事業	売上高		96,447	105,000	+ 8,553	+8.9%
	営業利益		△ 555	1,700	+ 2,255	—
環境事業	売上高		10,327	13,500	+ 3,173	+30.7%
	営業利益		1,768	1,900	+ 132	+7.5%
パーキング等事業	売上高		6,895	7,000	+ 105	+1.5%
	営業利益		656	600	△ 56	△8.5%
調整額	売上高		△ 581	△ 500	+ 81	—
	営業利益		△ 877	△ 1,000	△ 123	—

特装車事業

- 国内需要は底堅く、受注は引き続き好調に推移
- 原材料及びエネルギー価格が高止まり
- 国内トラックシャシの供給の本格的な回復には、もう少し時間を要す見込み
- 製品価格の改定を進め、利益の改善に注力（価格改定については今後も継続的に取り組む）



価格改定の取り組み

製品価格の改定と併せ、改定後受注分の生産を進めることにより
利益の改善へ

※再び原材料市場価格等が大きく変動した場合、その変動動向に応じてタイムリーに改定を検討



テールゲートリフタ	約 5%アップ	1台積車輛運搬車	約 8%アップ	
ごみ収集車	約 7%アップ	コンクリートポンプ車	約 2～10%アップ	2023年4月1日より



全製品
(トレーラ、ウイングボデー、バンボデーなど)

現行価格から10%～20%の値上げ 2023年2月1日より

補修用部品

①現行標準価格から15～20%の値上げ
②税別 10,000 円未満の運賃を1,500 円から1,800 円に改定 2023年4月1日より

国内トラックシャシの供給制限

半導体不足等に伴う生産への影響はやや改善、下期から回復

企業価値向上に向けた活動

日本トレクス 本社新工場を建設

主力製品であるトレーラ生産の新工場を本社内に建設中

投資額 約40億円、完成は**2024年5月**を予定

【効果】

- 生産能力 **1.4** 倍に向上
- 環境に配慮した工場
揮発性有機化合物を年間 約6.3t低減
CO₂ 排出量を年間 約3.2t削減



特装車のサービス体制強化(M&A)

エフ・イ・オートは、九州地域の指定サービス工場の九州特殊モータース(本社:福岡県)

の全株式を取得し、**グループ化**

【目的】

- 販売促進・シェア向上
- サービス力強化

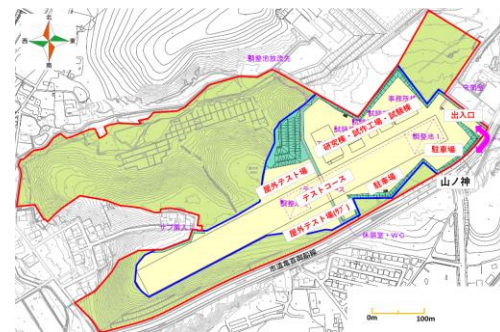
九州特殊
モータース本社



研究開発体制の強化

当社グループ研究開発拠点(テクニカルセンター)の建設計画を推進

2026年度完成予定



福岡工場 新事務所、工場増設

BCP対策として、事務所建替え

工場棟を増設し、リヤダンプトラック生産力を **1.3** 倍に強化



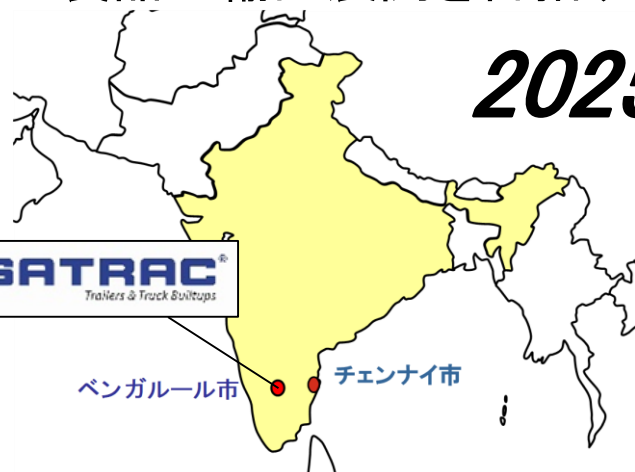
インドSATRAC 社の新工場建設に向け、覚書に署名

生産能力の強化による受注の取り込みと販路拡大によるシェアアップ及び将来的な製品の輸出展開を目指すべく、チェンナイ市近郊への**新工場建設を計画**



2025 年度 竣工・生産開始

設備投資額 : 約 19億円
敷地面積 : 約 5.8万 m^2 (予定)



オーストラリア販売代理店の株式90%を取得しグループ化



Kyokuto Australia Pty Ltd
旧社名 Import Machinery and Equipment Pty Ltd.

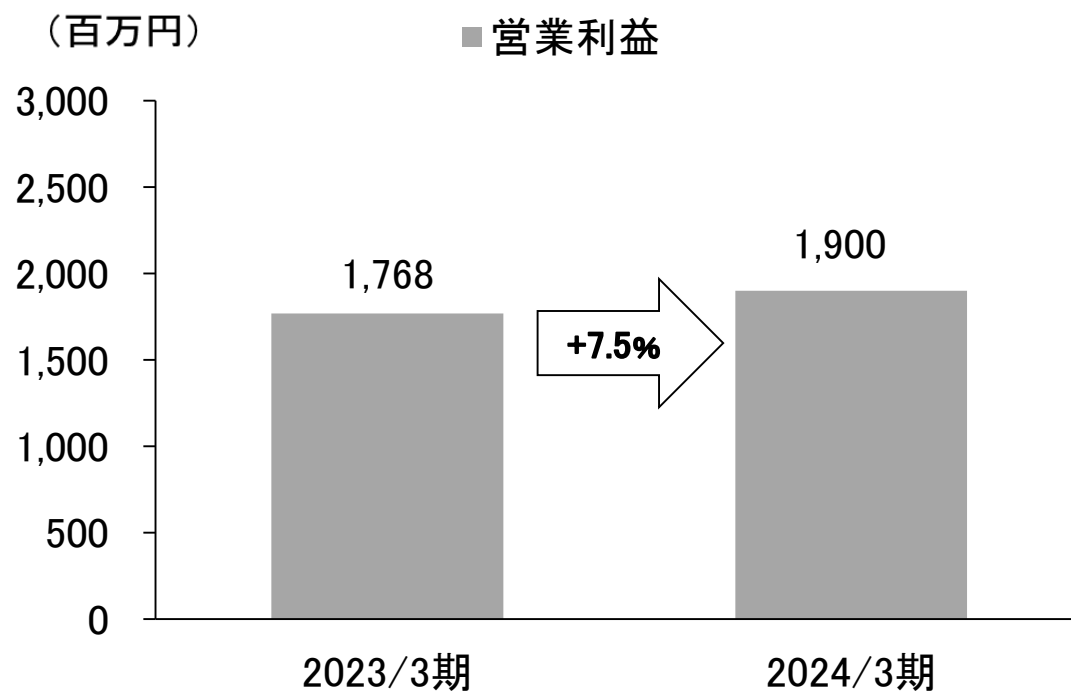
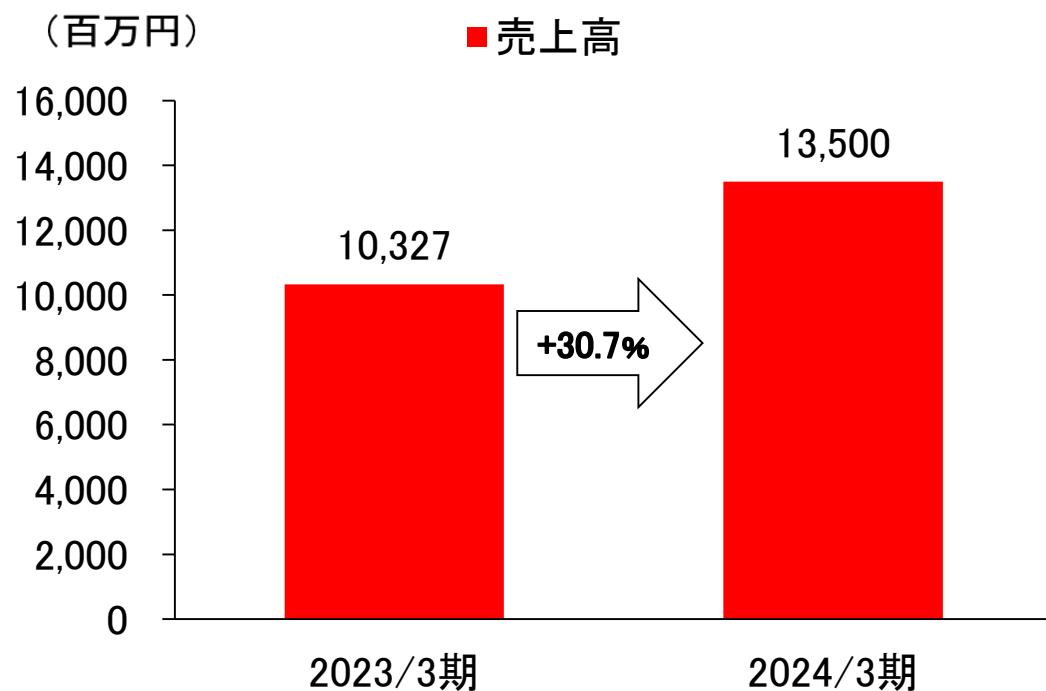
クイーンズランド州
ブリスベン

豪州及びオセアニア圏へ**初**進出

- ①ミキサートラックを中心に取扱製品の拡充とさらなる拡販を図る
- ②日本国内から豪州向けに輸出している中小型リヤダンプトラック等の部品供給拠点としても事業を展開

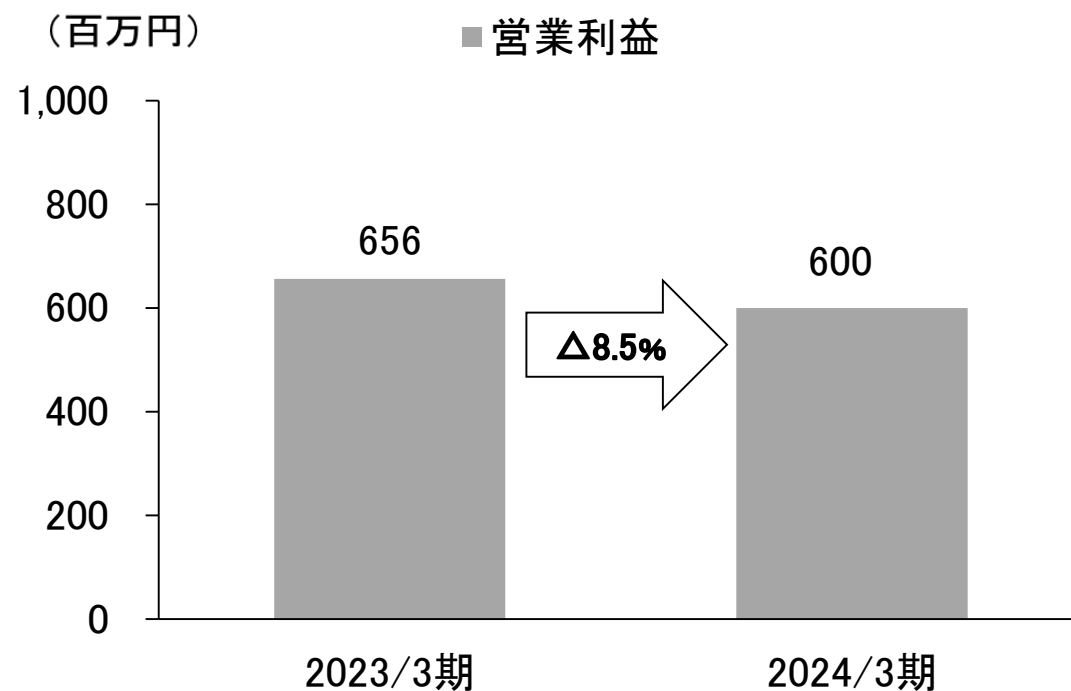
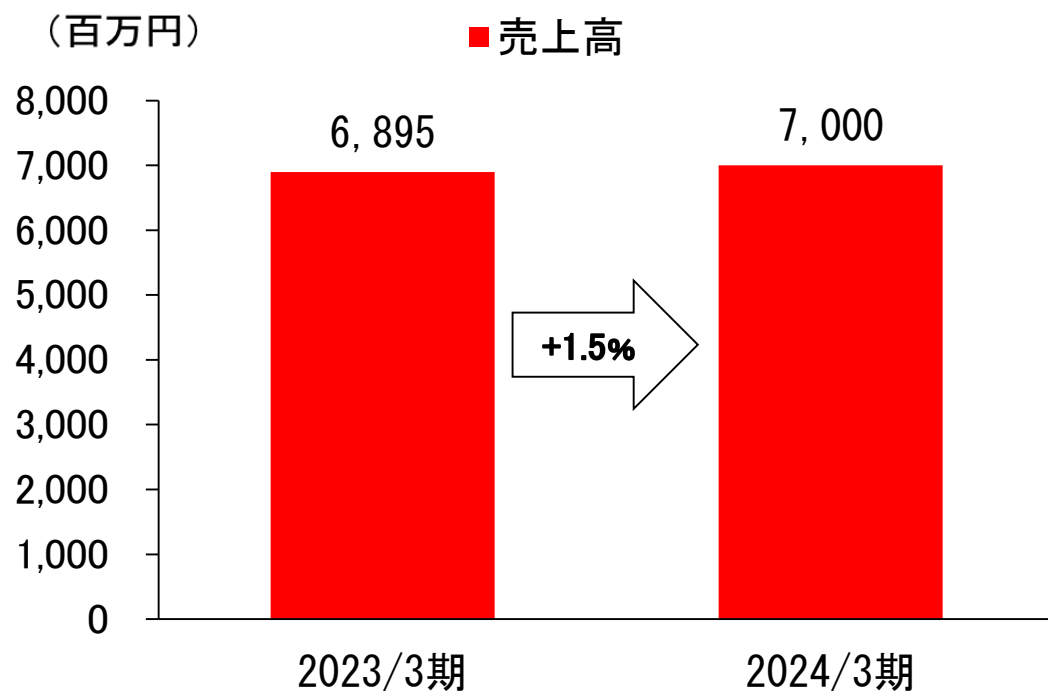
環境事業

- 今期中に新規プラントが 2 物件竣工し、売上高は大幅に増加
- 運転受託及びメンテナンスのストックビジネスは堅調
- 大型案件受注(中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事) 工期 52ヵ月 受注額 41,130百万円
工事進行中:上記含め8件(北海道3件、東京、埼玉、長野、兵庫、鹿児島)



パーキング等事業

- 立体駐車装置：リニューアル・メンテナンス等のストックビジネス強化
- コインパーキング：事業地・車室数増加と料金見直し→増収増益

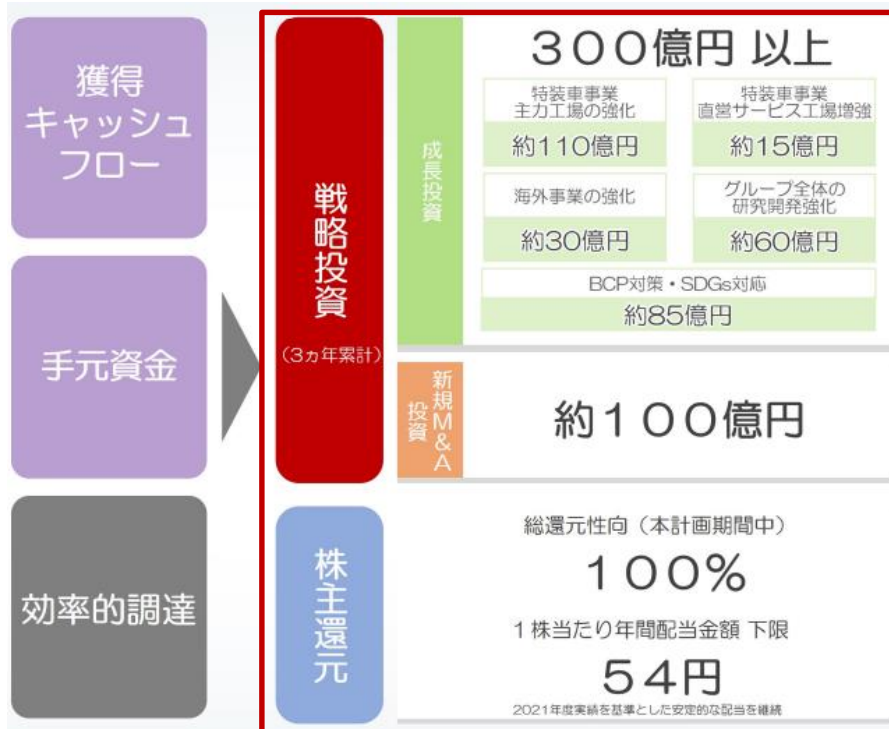


- ◆ 幅広いステークホルダーからの評価と企業価値向上を意識し、
キャッシュ・アロケーションの適切な配分を推進

中期経営計画 2022-24

～Creating The Future As One～

業績等の目標・方針(財務方針)



進捗状況

成長投資

➤ 2023年3月期 設備投資実績 118億円

- ・主力製品であるトレーラの新工場を建設中
- ・グループ研究開発拠点(テクニカルセンター)を計画中
- ・福岡工場 新事務所・工場増設(9月完成)
- ・インド SATRAC社の新工場建設(準備中)



新規M&A投資

- 九州特殊モータースの全株式を取得
- 豪州 IMAEA社株式の取得

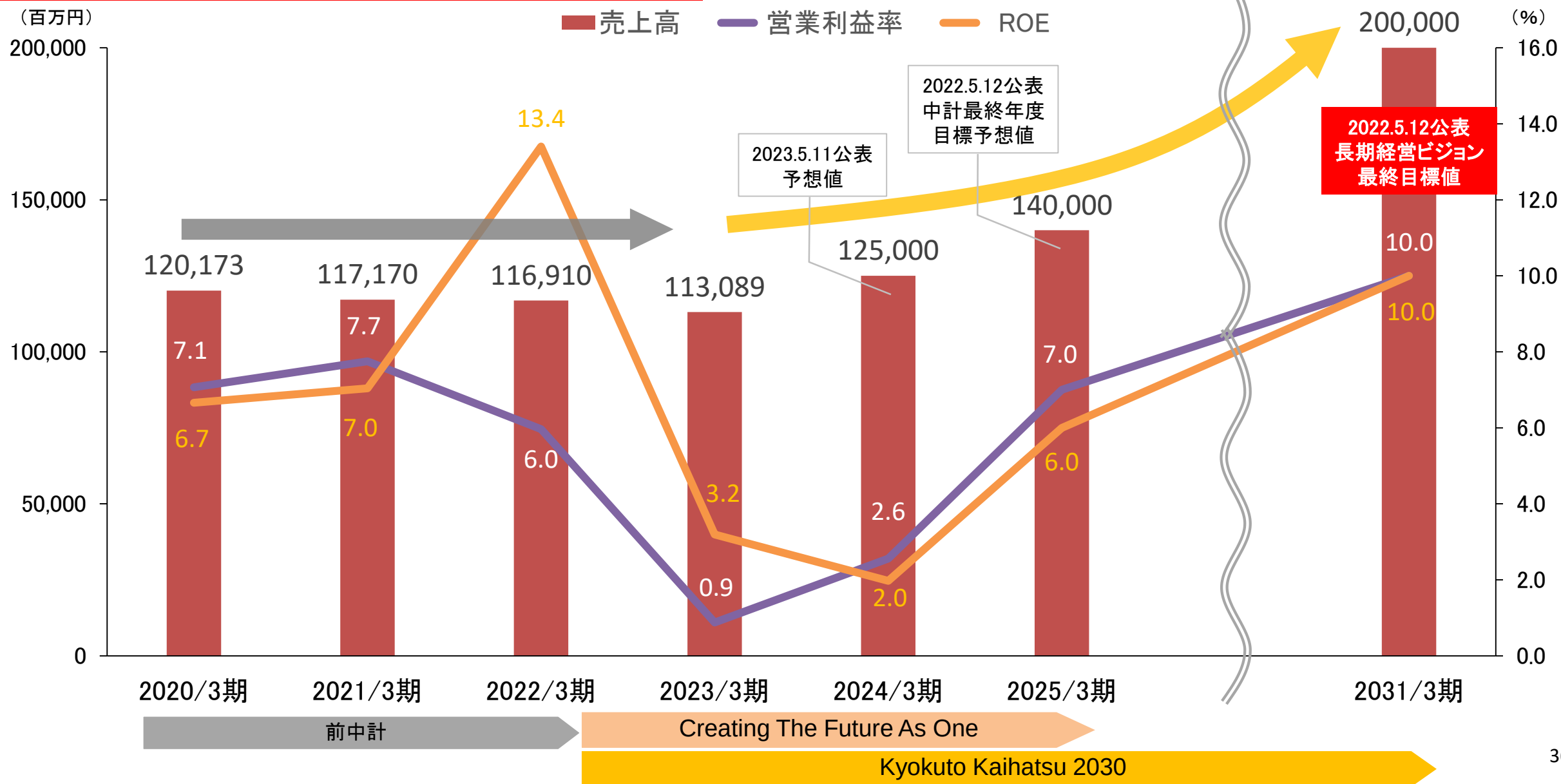


株主還元

- 今期は前期比 4円増の58円を予定
- 配当性向 100%(総還元性向 100%目標)

資本政策・業績目標

売上高・営業利益率・ROE目標



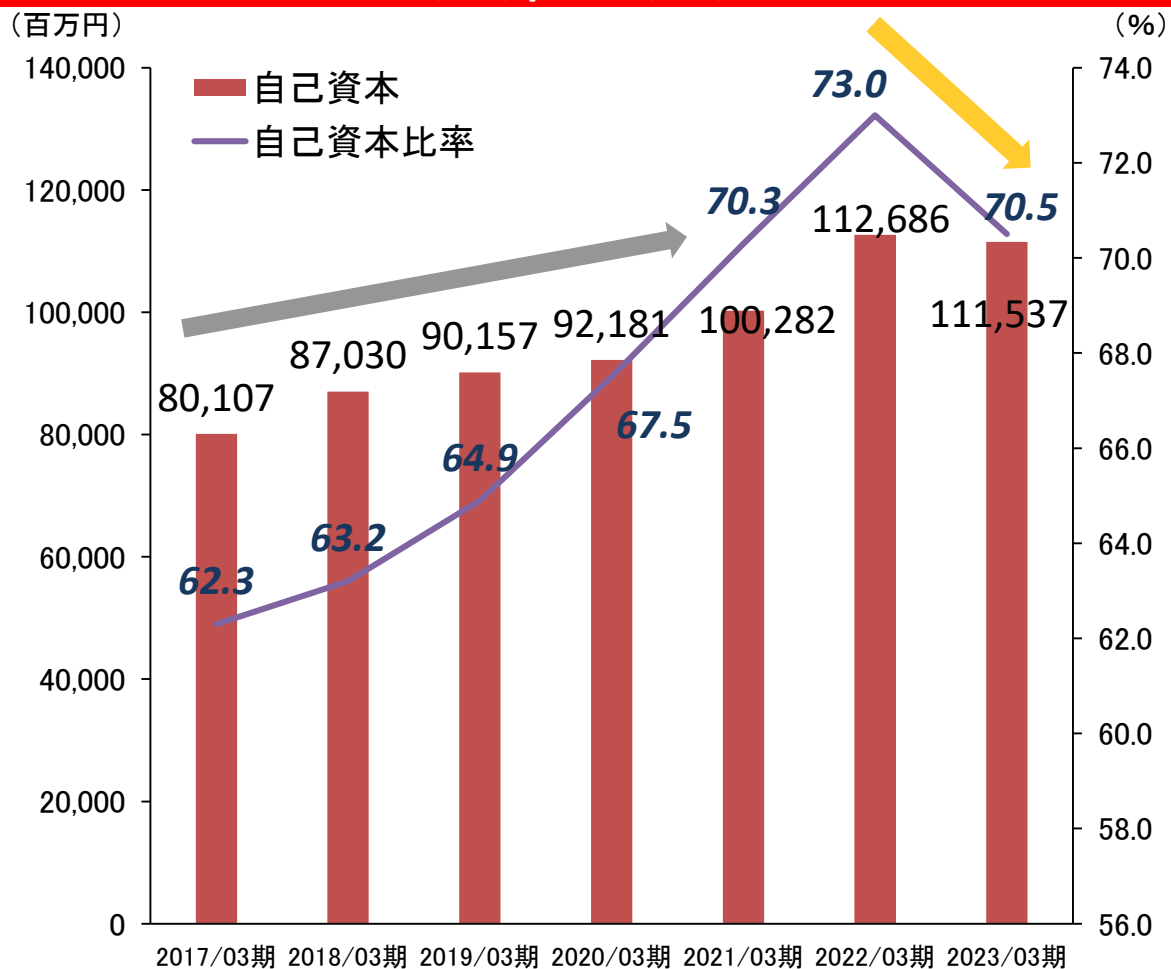
財務方針 バランスシート

◆ 財務健全性を維持しつつ、資産効率を向上

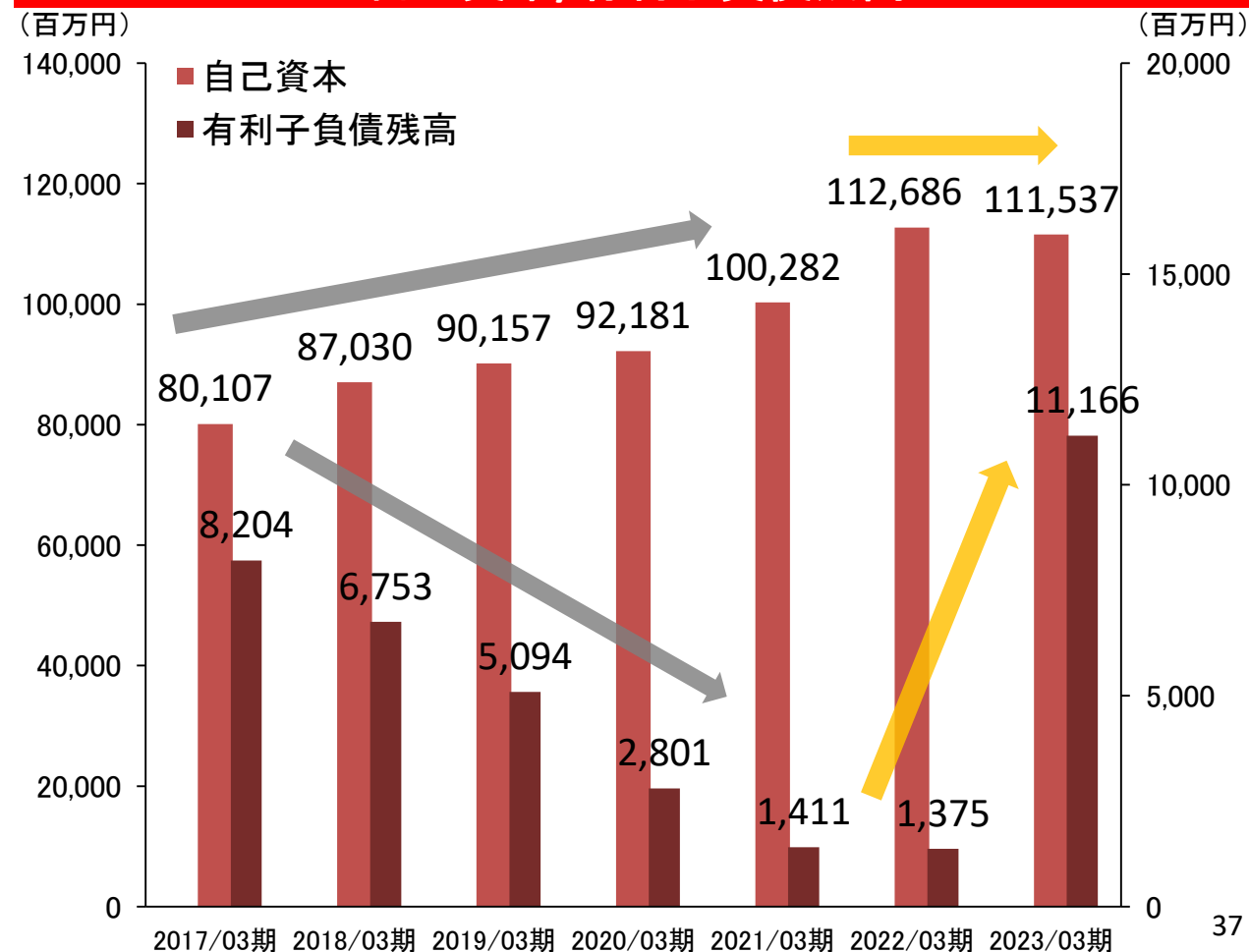
➢ 2023/3月期末の自己資本比率は70.5%(2022/3期末 73.0%)に低下

◆ 資本コストを意識しつつ、積極的に負債も活用 ※WACC 約6%、株主資本コスト 約7% と推定(2023/3月末)

自己資本/自己資本比率

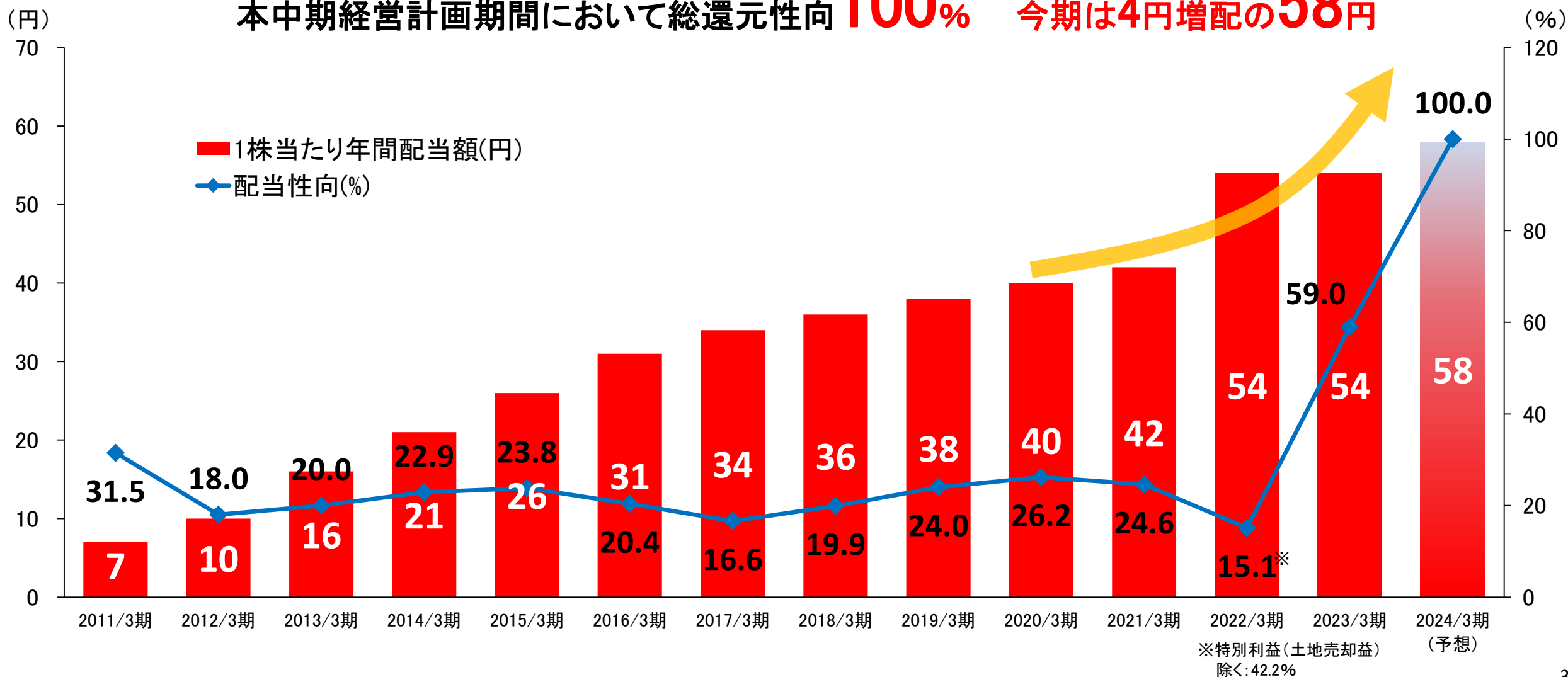


自己資本/有利子負債残高



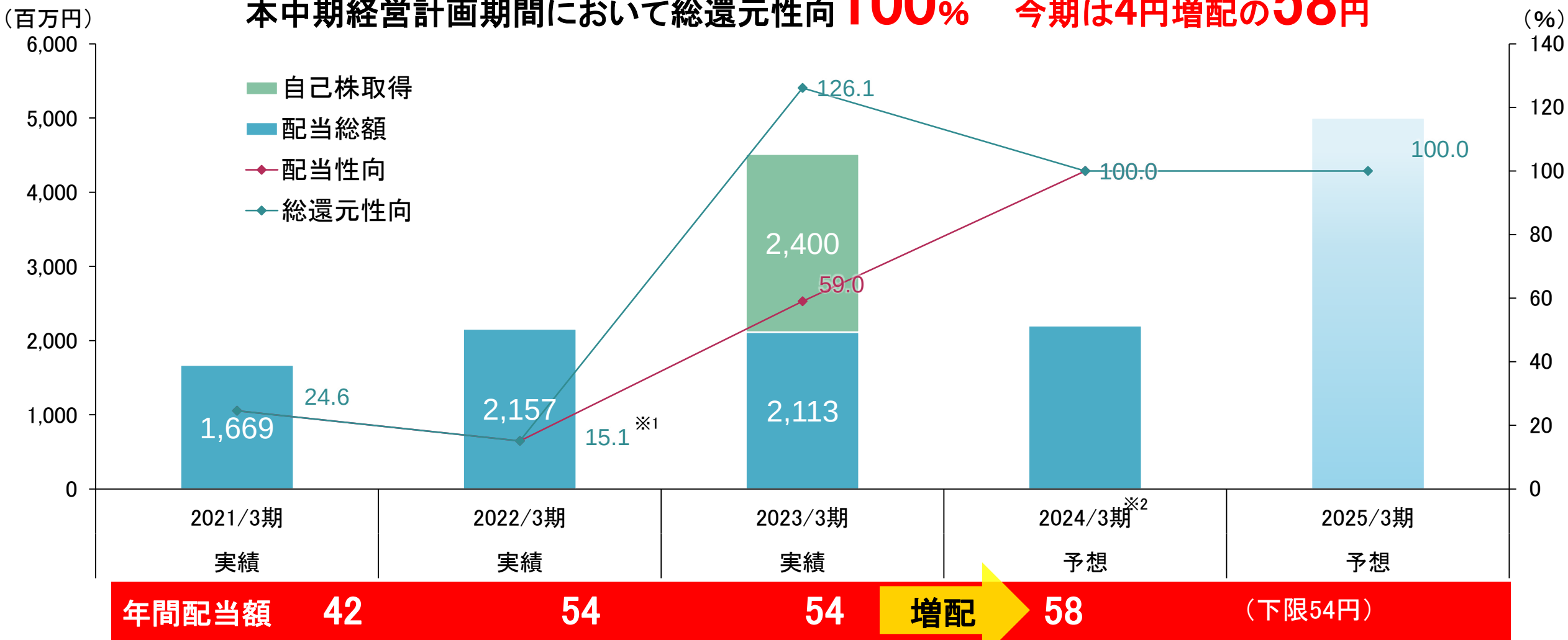
株主還元の方針：年間配当額 1株当たり下限54円 + 機動的な自己株式取得の実施

本中期経営計画期間において総還元性向 **100%** 今期は4円増配の**58円**



株主還元の方針：年間配当額 1株当たり下限54円 +機動的な自己株式取得の実施

本中期経営計画期間において総還元性向 **100%** 今期は4円増配の**58円**



※1 特別利益(土地売却益)
除く: 42.2%

※2 2024/3期は株主配当で100%を達成する見込み
自己株式取得は状況を見て判断

5. TOPICS

(2023年9月28日 開示)

東京二十三区清掃一部事務組合様より中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事を受注いたしました。

本事業は、東京都江東区の中防処理施設において、現在稼働中の処理施設及びごみ処理を継続しながら、第一プラントの建築物・プラント設備などを解体・撤去し、その跡地に国内最大級の処理能力を持つ、中防不燃・粗大ごみ処理施設を建設する事業です。

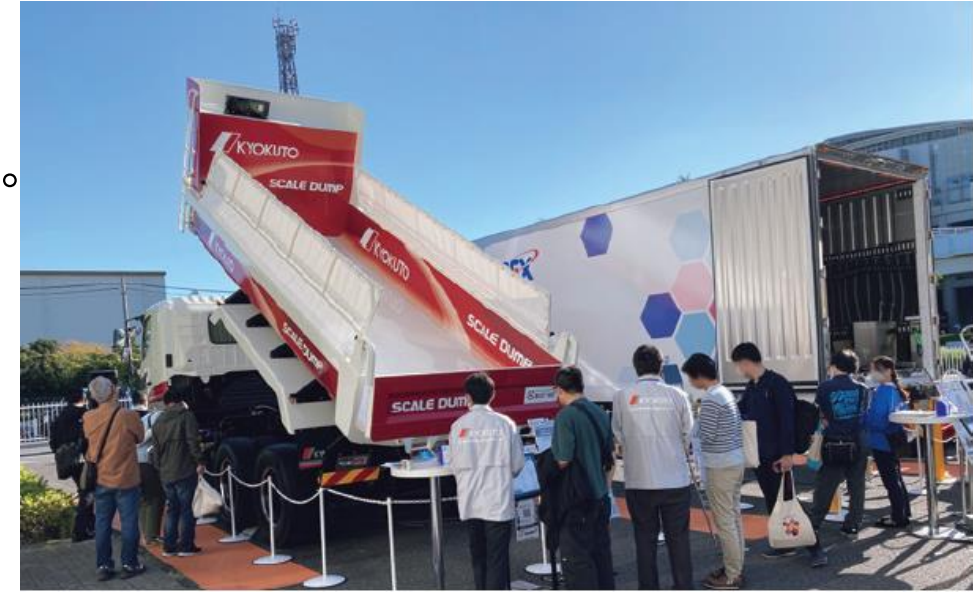


外観イメージ図

- 【本件概要】
- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 発注者 | 東京二十三区清掃一部事務組合 |
| 2. 受注グループ 代表企業（プラント工事 設計・施工） | 極東開発工業株式会社 |
| | 構成企業（土木建築、解体工事 設計・施工） |
| | 東急建設株式会社、岩田地崎建設株式会社 |
| 3. 事業名 | 中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事 ※中央防波堤 |
| 4. 事業場所 | 東京都江東区海の森二丁目4番79号 |
| 5. 事業期間 | 令和5年9月27日～令和10年1月31日（52ヵ月） |
| 6. 受注金額 | 41,130,000,000円（消費税及び地方消費税除く） |
| 7. 施設規模 | 420 t / 6h （210t/6h×2系列） |
| 8. 事業方式 | EPC方式（既設第一プラント解体及び新施設建設工事） |

2023年10月に東京ビッグサイトで開催された「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」の一般社団法人日本自動車車体工業会ブースにて、当社と日本トレックスの製品を出展しました。

展示会では、「2021年度グッドデザイン賞」受賞及び「グッドデザイン・ベスト100」に選出された10tリヤダンブトラック（耐摩耗鋼板（HARDOX）・スケールダンプ仕様）と冷凍機能を持たせたスワップボデー「スワップ冷凍フラットパネルバンボデー」を展示しました。



展示会の様子



10tリヤダンブトラック



スワップ冷凍フラットパネルバンボデー



変化に柔軟に対応できる、グローバルな企業へ

AIMING TO BECOME A GLOBAL COMPANY WITH FLEXIBILITY TO ADAPT TO CHANGES

本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く本資料を複製・配布することを禁止します。



極東開発グループは持続可能な
開発目標（SDGs）を支援しています。